

降雪に対する農作物の管理について

令和6年1月18日
農業技術課

甲府地方気象台によりますと、1月20日から21日にかけて低気圧が発達しながら日本の南岸を東に進むため、20日の夕方から雪が降り始め、21日には山地で警報級（30cm程度）の大雪、盆地においても注意報（5cm程度）が発令される可能性があります。

最新の気象情報を確認し、積雪に備え適切な対策を講じてください。

山梨県の天気予報（7日先まで）									
2024年01月18日11時 甲府地方気象台 発表									
日付	今日 18日(木)	明日 19日(金)	明後日 20日(土)	21日(日)	22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)	
山梨県	曇時々晴 	曇時々晴 	曇後雪か雨 	曇時々雨か雪 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	
降水確率(%)	-/-/20/20	20/10/10/20	70	80	20	20	20	20	
信頼度	-	-	-	A	A	A	A	A	
甲府 気温 (℃)	最高	13	14	12 (9~13)	10 (8~16)	15 (13~17)	12 (9~14)	7 (5~9)	8 (5~11)
	最低	-	2	2 (1~4)	1 (0~4)	2 (0~4)	-1 (-3~2)	-4 (-7~-3)	-8 (-10~-5)
向こう一週間（明日から7日先まで）の平年値									
降水量の7日間合計									
最低気温									
最高気温									
甲府	平年並 1 - 11mm			-2.1℃			8.7℃		

◎降雪対策

○果樹

- ・加温中のハウスでは、降雪直後から二重カーテンを開放し融雪に努める。また、燃料についても十分補充しておく。
- ・加温前のハウスでは、谷や巻き上げたビニールなどへの積雪には注意し、積雪が増える場合には荷重バランスに注意しながら、速やかに除雪する。
- ・防鳥網を広げてある園では、防鳥網を除去する。
- ・棚栽培では支柱等で補強するとともに粗切り剪定を行い棚への着雪を少なくする。
- ・棚や施設に雪が積もった場合は、荷重バランスに注意しながら、できるだけ速やかに除雪する。
- ・立木類では、着雪による枝折れを防ぐため支柱などで補強を行う。

○野菜・花き

- ・加温中のハウスでは、降雪直後から二重カーテンを開放し融雪に努める。また、燃料についても十分補充しておく。なお、暖房機の台数が少ない場合は雪が降雪前から稼働させておく。
- ・無加温ハウスでは、補助支柱で補強し、積雪が多く予想される場合は、簡易ストーブで早めに加温し、融雪させる。
- ・作物が入っていないハウスではビニールを除去するか巻き上げることとし、谷や巻き上げたビニールなどへの積雪は荷重バランスに注意しながら、できるだけ速やかに除去する。
- ・カリフラワーなどのトンネル栽培では、積もった雪は早めに除雪するとともに、トンネル内が加湿状態にならないよう換気を行う。
- ・スイートコーン等のトンネルの準備を行うほ場では、積雪の上に堆肥を散布するといった融雪対策を行い、準備が遅れないようにする。

○畜産

- ・積雪による畜舎や家畜の事故防止を図るため、安全には十分に配慮した上で、早めの

雪下ろし及び畜舎周辺の除雪に努める。

- ・積雪に伴う物流の遅延などに備え、予め飼料、燃料、飲水などを十分確保する。
- ・積雪による防護柵の破損や、野生イノシシの柵の乗越えに注意する。

なお、農業技術課HPに農業用ハウスと果樹棚の雪害防止対策指針（大雪に対する技術対策資料）を掲載していますので参考として下さい。

<https://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/kisyousaigai.html>